

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】絵本や紙芝居などに触れ、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉や文字に親しむ姿 文字には人に思いを伝える役割があることに気付き、使ってみようとする姿</p> <p>【他】保育者や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする姿</p> <p>【自】いろいろな体験を通して、言葉やイメージを自分の中に蓄えていく姿 自分の気持ちや経験したこと、考えたことなどを文字や言葉で表現しようとする姿</p>	
	年少	<p>【社会生活とのかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 	
	年中	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など？ 	
	年長（前）		
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】言葉がもつよきにつながる問いをもち、生活・学習経験と結び付けて、考えようとしている姿</p> <p>【自】言葉を用いることで、自分の思いを表現したり、相手の思いを理解したりできることに気づいている姿</p> <p>【他】仲間と共に、言葉がもつよきにつながる問いについて話し合っている姿 対話を楽しむ中で、自分の考えをもととしている姿</p>	
	年長（後）	<p>○先生や友達と心を通い合わせる中で、絵本や物語などに親しみをもちながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。(10の姿 言葉による伝え合い) ・絵本の中の言葉を遊びや生活の中で使ったり、自分達で話を考えながら劇遊びをしたりする。</p>	
	見方・考え方	<p>言葉の意味、働き、使い方を文脈の中でとらえようとする</p>	<p>表現意図の視点に立ち、言葉を根拠に語るようとする</p>
	小1	言葉の意味に着目し、話や文章の内容を理解したり、自分の思いを順序立てて表現したりすることができる。	表現意図に着目し、話し方について考えることができる。
小2	言葉の意味に着目し、話や文章の内容を理解したり、自分の思いを順序立てて表現したりすることができる。	表現意図に着目し、話し方・書き方について考えることができる。	
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】言葉がもつよきにつながる問いをもち、繰り返し言葉にかかわっている姿</p> <p>【他】言葉を意図的に用い、自分の思いや考えを適切に表現したり、相手の思いや考えを適切に理解したりする姿</p> <p>【自】他者の考えや言語表現を広げている姿</p>	
	小3	言葉の意味や使い方に着目し、話や文章の内容を正確に理解したり、自分の考えを筋道立てて表現したりすることができる。	表現意図に着目し、話し方・書き方について自分の考えをもつことができる。
小4	言葉の意味や使い方に着目し、話や文章の内容を正確に理解したり、自分の考えを筋道立てて表現したりすることができる。	表現意図に着目し、話し方・書き方について自分の考えをまとめることができる。	
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】言葉がもつ価値につながる問いをもち、繰り返し言葉にかかわっている。問いを追究する中で、言葉と言葉との関係を、捉えたり問い直したりしようとしている姿</p> <p>【自】言葉を自分に引きつけて考えたり、言葉が持つ価値を認識したりしている。問いについて自分の生活、学習経験を想起して考えたり、学びの過程を振り返る中で言葉によって自分の考えの広がりや深まりを自覚したりしている姿</p> <p>【他】対話を通して、仲間の考えと自分の考えを比べながら、自分の考えを確かなものにしようとしている姿</p>	
	小5	言葉の意味や使い方に着目し、話や文章の内容を正確に理解して豊かに想像したり、筋道立てて表現したりすることができる。	表現意図に着目し、話し方・書き方について自分の考えを広げることができる。
	小6	言葉の意味や使い方に着目し、話や文章の内容を正確に理解して豊かに想像したり、筋道立てて表現したりすることができる。	表現意図に着目し、話し方・書き方について自分の考えを広げることができる。
	見方・考え方	<p>言葉の意味、働き、使い方を文脈の中でとらえようとする</p>	<p>表現意図の視点に立ち、言葉を根拠に語るようとする</p>
中1	事象や行為、心情を表す言葉を知り、言葉のもつ辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意することができる。	書き手・話し手の意図が表れた表現に気付き、その効果について根拠をもとに説明することができる。	
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】言葉がもつ価値につながる問いをもち、言葉を吟味している。問いの追究のために、言葉と言葉との関係を、捉えたり問い直したりしようとしている姿</p> <p>【他】対話を通して、仲間の考えと自分の考えとを比較・検討しながら、自分の考えを確かなものにしようとしている姿</p> <p>【自】客観的に学びを見つめて言葉がもつ価値を認識したり、言葉を学ぶことよさに気付いたりしている姿。学びの過程を振り返る中で、言葉によって自分の考えの広がりや深まりを実感し、言葉を自覚的に使おうとしている姿</p>	
	中2	抽象的な概念を表す言葉を獲得し、文章全体での言葉の使われ方や効果に気付くことができる。	書き手・話し手の意図が表れた表現に気付き、その効果について根拠の妥当性を問いながら説明することができる。
	中3	文章全体を通して、言葉の持つ役割や効果について理解し、自己の表現に生かすことができる。	書き手・話し手の意図が表れた表現に気付き、その効果について内容と表現の関係に着目して説明することができる。

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】様々なことに興味関心をもち、気づいたり、遊びに取り入れたりする姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な事象に積極的に関わり、考えたり、試したり、工夫したりする姿 自然に触れる体験を通して、季節や自然の変化に気づき、親しむ姿 身近な動植物に触れて親しむ中で、生命の不思議さや尊さなどに気づき、いたわったり、大切にしたりする姿 <p>【他】身近な人に親しみをもってかかわる姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に活動することを喜び、友達に親しみをもったり、共感したり、思いを伝え合ったりする姿 友達とのやりとりの中で、相手の思いに気づいたり考えたりする姿 <p>【自】ものや友達とかかわりながら様々な遊びを楽しむ中で、自分なりの思いをもったり、自分でしようしたり、自分ですることやできるようになったことを喜んだりする姿</p>			
	年少	<p>【社会生活とのかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 			
	年中	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 地域の高齢者や大学、農場など？ 			
	年長（前）	<ul style="list-style-type: none"> 生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 大学など？ 			
第Ⅱ期	年長（後）	<p>〇いろいろな人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみを持つようになる。遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報を伝え合ったり、活用したり、情報に基づき判断しようとしていたりして、情報を取捨選択などして役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用したりなどして、社会とのつながりの意識等が芽生えるようになる。(10の姿:社会生活とのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方に、こよりづくりやもちつきなどを教えてもらいながら、親しみをもつ。 地域の行事や祭りに参加した経験から、遊びの中でお店を開いたりお神輿をつくりたりして再現して遊ぶことを楽しむ。 			
	見方・考え方	【見方】位置や空間の広がりに着目する	【見方】時期や時間の経過に着目する	【見方】事象や人々の相互関係に着目する	【考え方】比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること
	小1				
	小2				
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】社会的事象に見られる諸課題をつかみ、自分との関係に気づく姿</p> <p>【他】自他の意見のちがいを認め、よりよい意見を選ぶ姿</p> <p>【自】さまざまな人々の営みからよりよい生き方について考える姿</p>			
	小3	社会的な事象を位置や空間の広がりに着目して捉え、身近な地域や市区町村の地理的環境について、自然条件をもとに特徴を捉えることができる。	社会的な事象を時期や時間の経過に着目して捉え、地域の様子や移り変わりに関する、人々の生活との関連を踏まえて理解することができる。	社会的な事象を様々な事象や人々の相互関係に着目して捉え、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子について人々の生活との関連を踏まえて理解することができる。	左記のような見方に着目して社会的な事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする
	小4	社会的な事象を位置や空間の広がりに着目して捉え、自然条件をもとに山口県の特徴を捉えることができる。	社会的な事象を時期や時間の経過に着目して捉え、山口県の変遷や、地域の人々の健康と生活環境を支える働き、自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、人々の生活との関連を踏まえて理解することができる。	社会的な事象を様々な事象や人々の相互関係に着目して捉え、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解することができる。	
	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】国家に見られる課題をつかみ、自分との関係に気づく姿</p> <p>【他】自他の意見のちがいを認め、よりよい意見を選ぶ姿</p> <p>【自】さまざまな人々の営みからよりよい生き方について考える姿</p>			
小5	社会的な事象を位置や空間の広がりに着目して捉え、我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状について、自然条件をもとに特徴を捉えることができる。	社会的な事象を時期や時間の経過に着目して捉え、我が国の国土の移り変わり、産業の変遷などについて、国民生活との関連を踏まえて理解することができる。	社会的な事象を様々な事象や人々の相互関係に着目して捉え、我が国の産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解することができる。	左記のような見方に着目して社会的な事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする	
小6	社会的な事象を位置や空間の広がりに着目して捉え、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解することができる。	社会的な事象を時期や時間の経過に着目して捉え、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について理解することができる。	社会的な事象を様々な事象や人々の相互関係に着目して捉え、我が国の政治の考え方と仕組みや働きなどについて、理解することができる。		
第Ⅳ期	見方・考え方	地理的な見方・考え方	歴史的な見方・考え方	公民的な見方・考え方	
	中1	社会的な事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結びつきなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けて説明することができる。	社会的な事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして説明することができる。	社会的な事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けて説明することができる。	
	中2	社会的な事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結びつきなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けて説明することができる。	社会的な事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして説明することができる。	社会的な事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けて説明することができる。	
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】社会的な事象のなかに矛盾や課題を見つけ、どのような価値を見出すことができるか考えている姿</p> <p>【他】自らの経験や既習事項を活用しながら、望ましい社会のあり方を議論し、より高い価値を見出そうとしている姿</p> <p>【自】自らの価値観や行動のあり方が、望ましい社会を実現することのできるものになっているか振り返ろうとしている姿</p>			
	中3	社会的な事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結びつきなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けて説明することができる。	社会的な事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして説明することができる。	社会的な事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けて説明することができる。	

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 遊びや生活の中で、数量や図形などへの興味や関心をもつ姿 数量や図形などに触れ、(数えたり比べたりなど) 親しく体験を積み重ねながら、必要に応じて活用する姿 【他】 友達や様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付いたり、考え直したりする姿 【自】 遊びや生活の中で数量や図形を活用するよさを感じる姿</p>					
	年少	<p>【社会生活とのかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付く、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 ○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など? ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など?</p>					
	年中	<p>【対】 具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える姿 具体的な操作を通して形の構成について考えたりする姿 量の大きさの比べ方を考える姿 身の回りの事象の特徴を捉える姿 【他】 問題解決の過程や結果を、具体物や図などを用いて表現する姿 【自】 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ姿</p>					
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>○遊びや生活の中で、数量や図形などに親しく体験を重ねたり、役割に気づいたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつ。 ・これまでの経験をもとに、自分たちの遊びや生活に必要な感をもつて、ものを数えたり、形を組み合わせて遊んだりする。</p>					
	見方・考え方	単位・基準	集合	表現	関数の考え		
	小1	まとまりに着目し、数の数え方を考えたり、計算の仕方を考えたりすることができる。	図形の分解や合成に着目し、形の構成について考えることができる。	絵や図、絵グラフの表し方や相互の変換、意味に着目し、問題解決に活用することができる。	複数の数や加法、減法に存在する規則性に着目し、きまりを発見することを楽しむことができる。		
小2	まとまりや一部分の大きさに着目し、数の表し方や計算の仕方を考えることができる。	辺の数、面の数、角の数、その長さや大きさに着目し、図形(正方形、長方形、直角三角形)の性質について考えることができる。	テープ図、絵グラフの表し方や相互の変換、意味に着目し、問題解決に活用することができる。	複数の数や加法・減法の筆算、乗法に存在する規則性に着目し、きまりを発見することを楽しむことができる。			
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する姿 図形の性質や図形の計量について考察する姿 変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する姿 目的に応じてデータを収集し、表やグラフの的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする姿 【他】 問題解決の過程や結果を、具体物や図などを用いて表現する姿 【自】 数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする姿</p>					
	小3	位や一部分の大きさに着目し、数の表し方や計算の仕方を考えることができる。	辺の長さや角の大きさの相等に着目し、図形(円、三角形)の性質について考えることができる。	棒グラフ、線分図、数直線図、簡単な二次元表の表し方や相互の変換、意味に着目し、問題解決に活用することができる。	筆算や乗法、除法に存在する規則性に着目し、変化の特徴を見いだすことができる。		
	小4	位や数のまとまり、単位に着目し、数の仕組みや計算の仕方、量の数値化や計量、比べ方を考えることができる。	平行や垂直といった位置関係に着目し、平面図形や立体図形の性質について考えたり、既習の図形を捉え直したりすることができる。	数直線図、表、4マス関係表、二次元表、折れ線グラフの表し方や相互の変換、意味に着目し、問題解決に活用することができる。	伴って変わる二つの数量の規則性に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考えることができる。		
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する姿 図形の性質や図形の計量について考察する姿 変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する姿 身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする姿 【他】 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う姿 【自】 数学的に表現・処理したことを解決の方法を振り返り、数学のよさを自覚し学習したことを生活や学習に活用しようとする姿</p>					
	小5	1あたりの大きさや基準量の1に着目し、数の性質や計算の仕方、量の比べ方、立体図形の体積の求め方を考えることができる。	整数の性質に着目し、整数の類別の仕方や整数の構成について考えることができる。 図形間の関係に着目し、等積変形等の考えを用いて、図形の計量の仕方について考えることができる。	比例数直線図、表、4マス関係表、円グラフ、帯グラフの表し方や相互の変換、意味に着目し、問題解決に活用することができる。	比例関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を比例数直線図や4マス関係表、式を用いて考えることができる。		
	小6	1あたりの大きさや基準量の1に着目し、数の表し方や計算の仕方、量の比べ方、立体図形の体積の求め方を考えることができる。	図形の対称性や辺の長さの比に着目し、図形の性質について考えたり、既習の図形を捉え直したりすることができる。 図形間の関係に着目し、等積変形等の考えを用いて、円や楕円の計量の仕方について考えることができる。	比例数直線図、面積図、表、4マス関係表、ドットプロット、柱状グラフの表し方や相互の変換、意味に着目し、問題解決に活用することができる。	比例関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を比例数直線図や4マス関係表、式、グラフを用いて考えることができる。		
第Ⅴ期	見方・考え方	単位・基準	集合	表現	関数の考え・関係	論理	批判
	中1	正負の数の大きさに着目し、基準を設定して考えることができる。	立体図形の辺や面などの特徴に着目し、表面積や体積の求め方について考えることができる。 符号や絶対値に着目して、計算のきまりや数の範囲の広がりを考えることができる。	文字式が表している内容に着目し、問題解決の過程や結果を考察することができる。	2つの数量関係に着目し、比例や反比例について、表、式、グラフを用いて考えることができる。 等しい関係に着目し、方程式を立てて処理し、式の意味や解を考察することができる。	平面図形の性質や図形の移動、空間図形の構成要素に着目し、面積や体積の求め方などを筋道を立てて説明することができる。	目的に応じてデータを収集し、統計的問題解決のサイクルで捉え、場面に応じて批判的に考察することができる。
第Ⅵ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 数学を活用して事象を論理的に考察する姿 数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する姿 【他】 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現し伝える姿 【自】 問題解決の過程や内容を振り返って評価・改善し、新たな問題を見いだそうとする姿</p>					
	中2	二元について具体的な数に着目し、基準を設定して、既に学習した計算方法と関連付けて考察することができる。	基本的な平面図形の性質の関係に着目し、平行線や角の性質をもとにして説明することができる。	文字式が表している内容に着目し、数量の関係や法則などを考察することができる。	2つの数量関係の変化の割合に着目し、一次関数について、表、式、グラフを結びつけて考察したり、複数の等しい関係に着目し、連立方程式を立てて処理し、式の意味や解を考察することができる。	文字式を用いて数量の関係や法則などを説明したり、図形の性質に着目し、筋道を立てて、事象を明確に説明することができる。	四分位範囲や箱ひげ図に着目し、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察することができる。
中3	数の範囲や文字の次数などに着目し、基準を設定して数の性質を考察したり、計算の方法を考えたりすることができる。	有理数や無理数などの数の集合に着目し、数量の大小関係や法則に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。	文字式が表す意味に着目し、その式を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。	複雑な条件を整理して二次方程式を立てて、式の意味や解を考察したり、様々な数量関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて表現することができる。	文字式を用いて数量の関係や法則などを説明したり、図形の性質に着目し、その性質を論理的に説明したり、新たな性質を見出したりすることができる。	標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察することができる。	

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】様々なことに興味関心をもち、気づいたり、遊びに取り入れたりする姿 身近な事象に積極的に関わり、考えたり、試したり、工夫したりする姿 自然に触れる体験を通して、季節や自然の変化に気づき、親しむ姿 身近な動植物に触れて親しむ中で、生命の不思議さや尊さなどに気づき、いたわったりする姿</p> <p>【他】身近な人に親しみをもってかかわる姿 友達と一緒に活動することを喜び、友達に親しみをもったり、共感したり、思いを伝え合ったりする姿 友達とのやりとりの中で、相手の思いに気づいたり考えたりする姿</p> <p>【自】ものや友達とかかわりながら様々な遊びを楽しむ中で、自分なりの思いをもったり、自分でしようしたり、自分ですることやできるようになったことを喜んだりする姿</p>			
	年少	<p>【社会生活とのかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 ○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 			
	年中	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学など？ 			
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える姿 具体的な操作を通して形の構成について考えたりする姿 量の大きさの比べ方を考える姿 身の回りの事象の特徴を捉える姿</p> <p>【他】 問題解決の過程や結果を、具体物や図などを用いて表現する姿</p> <p>【自】 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ姿</p>			
	年長（後）	<ul style="list-style-type: none"> ○自然との関わり・生命尊重(10の姿) ・自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まる。 ・身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとして大切に扱おうと関わる。 ○思考力の芽生え(10の姿) ・身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたり、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様なかかわりを楽しむようになる。 ・友達と様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。 			
	見方・考え方	量的・関係的	質的・実体的	共通性・多様性	時間的・空間的
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 比較することで、問いを見いだす姿 違いがわかる、根拠のある仮説・予想を立てる姿</p> <p>【他】 自分と他者の考えを比較しながら、問題を発見したり、予想や仮説をたてたりする姿</p> <p>【自】 自然の事物・現象に興味・関心をもち、自ら問題を見いだし、解決しようとする姿</p>			
	小3	量(重さや長さ、強さ等)の関係に着目し、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現することができる。	ものの性質や存在、様子に着目し、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現することができる。	同じところと違うところに着目しながら、問題を見いだし、表現することができる。	時間の経過や位置関係に着目しながら、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現することができる。
	小4	量(重さや長さ、強さ等)の関係に着目し、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現することができる。	ものの性質や存在、様子に着目し、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現することができる。	同じところと違うところに着目しながら、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現することができる。	時間の経過や位置関係に着目しながら、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現することができる。
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 実験方法の発想、条件を制御する姿 より妥当な考えを導く、多面的に調べる姿 自ら課題を設定する姿</p> <p>【他】 自らの予想や仮説を、他者と協働しながら科学的に探究する姿</p> <p>【自】 自然の事物・現象に興味・関心をもち、自ら問題解決の方法を見いだし、その結果から科学的に考察しようとする姿</p>			
	小5	量(重さや長さ、強さ等)の関係に着目しながら、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現することができる。	ものの性質や存在、様子に着目しながら、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現することができる。	同じところと違うところに着目しながら、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現することができる。	時間の経過や位置関係に着目しながら、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現することができる。
	小6	量(重さや長さ、強さ等)の関係に着目しながら、より妥当な考えをつくりだし表現することができる。	ものの性質や存在、様子に着目しながら、より妥当な考えをつくりだし表現することができる。	同じところと違うところに着目しながら、より妥当な考えをつくりだし表現することができる。	時間の経過や位置関係に着目しながら、より妥当な考えをつくりだし表現することができる。
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 解決方法を立案・解釈する姿 探究の過程を振り返る姿</p> <p>【他】 自分と他者の考えを吟味したうえで、総合的に判断し、より妥当な考えをつくりだす姿</p> <p>【自】 探究の過程を振り返ることで、科学的に探究することよさに気付く姿 評価・改善しようとする姿</p>			
	中1	量(重さや長さ、強さ等)の関係に着目し、「規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準」を見いだして表現することができる。	ものの性質や存在、様子に着目し、「規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準」を見いだして表現することができる。	同じところと違うところに着目し、「規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準」を見いだして表現することができる。	時間の経過や位置関係に着目し、「規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準」を見いだして表現することができる。
第Ⅵ期	中2	量(重さや長さ、強さ等)の関係に着目しながら解決する方法を立案し、その観察、実験の結果を分析することで「規則性や関係性」を見いだして表現することができる。	ものの性質や存在、様子に着目しながら解決する方法を立案し、その観察、実験の結果を分析することで「規則性や関係性」を見いだして表現することができる。	同じところと違うところに着目しながら解決する方法を立案し、その観察、実験の結果を分析することで「規則性や関係性」を見いだして表現することができる。	時間の経過や位置関係に着目しながら解決する方法を立案し、その観察、実験の結果を分析することで「規則性や関係性」を見いだして表現することができる。
	中3	量(重さや長さ、強さ等)の関係に着目しながら観察、実験を行い、その結果を分析することで「特徴、規則性、関係性」を見いだして表現することができる。	ものの性質や存在、様子に着目しながら観察、実験を行い、その結果を分析することで「特徴、規則性、関係性」を見いだして表現することができる。	同じところと違うところに着目しながら観察、実験を行い、その結果を分析することで「特徴、規則性、関係性」を見いだして表現することができる。	時間の経過や位置関係に着目しながら観察、実験を行い、その結果を分析することで「特徴、規則性、関係性」を見いだして表現することができる。

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 様々なことに興味関心をもち、気付いたり、遊びに取り入れたりする姿 身近な事象に積極的に関わり、考えたり、試したり、工夫したりする姿 自然に触れる体験を通して、季節や自然の変化に気付き、親しむ姿 身近な動植物に触れて親しむ中で、生命の不思議さや尊さなどに気付き、いたわったり、大切にしたりする姿</p> <p>【他】 友達とのやり取りの中で、友達の思いを知ったり、助け合ったりする姿 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう姿</p> <p>【自】 ものや友達とかがわりながら様々な遊びを楽しみの中で、自分なりの思いをもったり、自分でしようしたり、自分ですることやできるようになったことを喜んだりする姿</p>	
	年少	<p>【社会生活とのかかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 ○幼稚園内外の行事において団親に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など？</p>	
	年中		
	年長（前）		
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 思いや願いを実現しようと、身近な人々、社会及び自然に、繰り返し関わり、気付きを深めていく姿 【他】 仲間と気付きを交流し、新たな気付きを生み出したり、関連付けたりしている姿 仲間と共に活動する一体感や、自己の変容を感じている姿</p> <p>【自】 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする姿</p>	
	年長（後）	<p>【協同性】 ○友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。 【自立心】 ○遊びや生活の中で様々なことに挑戦し、失敗も繰り返す中で、自分でしなければならないことを自覚するようになる。教師や友達の力を借りたり励まされたりしながら、難しいことも自分の力でやってみようとして、考えたり、工夫したりしながら、諦めずにより遂げる体験を通して達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。 【社会生活との関わり】 ○体験を重ねる中で人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えたり関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しむをもつようになる。 ○好奇心や探究心が一層高まり、関心のあることについて、より詳しく知りたいと思ったり、より本物らしくしたいと考えて遊びの中で工夫したりする中で、身近にあるものから必要な情報を取り入れる姿が見られるようになる。 【自然との関わり・生命尊重】 ○好奇心や探究心をもって考えたことをその幼児なりの言葉などで素直に表現しながら、身近な事象への関心を高めていく。 ○動植物との関わりを積み重ねる中で、ただかわいがるだけではなく、命あるものとして大切に扱おうとする。</p>	
	見方・考え方	生活（～小2）：自分を物事の中心に	総合（小3～）：俯瞰する・自己の生き方を問い続ける
	小1	<p>○身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えることができる。 ○思いや願いの実現に向け考え、工夫することができる。</p> <p>分析的に考える ①見付ける ②比べる</p>	
	小2	<p>創造的に考える ①試す ②見通す ③工夫する</p>	
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 願いを実現するための課題や、解決の方法を自分なりに考える姿 自分の体験や調べたことを仲間の体験や自分のこれまでの体験と比べて対象をとらえなおすよさを感じている姿 【他】 他者の気持ちを感じ取ったり、いろいろな考えがあることを自分なりに感じ取ったりしながら、協働して学びに向かう姿 【自】 探求的な学習を通して、そのよさを自分なりに感じるとともに、自己の生き方を考えている姿 (人や社会、自然との関わりにおいて、自らの生活や行動について考えていく。) (自分にとっての学ぶことの意味や価値を考えていく。) (学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考えていく。)</p>	
	小3		<p>【俯瞰する】 ○収集した情報を比較・分類しながら整理することを通して、多面・多角的な視点から情報の中にある特徴を見付け、課題解決に向けた自分なりの応えを考えることができる。</p>
	小4		<p>【自己の生き方を問い続ける】 ○他者と協働して探求的な学習に取り組むことを通して、自分と地域社会のつながりを感じ、地域の活動に参加したり、自分にできることを考えたりすることができる。</p>
	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 願いの実現に向けて、問題場面やその課題に気付き、解決の方法や手順を考える姿 体験や調査から得た多様な情報を観点に合わせて整理したり分析したりして対象をとらえよさに気付く姿 【他】 他者の思い、立場に共感したり、多様な価値や考え、個性を認めたりすることのよさに気付きながら、協働して学びに向かう姿 【自】 探求的な学習を通して、そのよさに気付くとともに、自己の生き方を考えている姿 (人や社会、自然との関わりにおいて、自らの生活や行動について考えていく。) (自分にとっての学ぶことの意味や価値を考えていく。) (学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考えていく。)</p>	
第Ⅳ期	小5		<p>【俯瞰する】 ○収集した情報を比較・分類・関連付けながら整理することを通して、多面的・多角的な視点から情報の中にある特徴に気付き、課題解決に向けた自分なりの応えをもつことができる。</p>
	小6		<p>【自己の生き方を問い続ける】 ○他者と協働して課題を見出したり捉え直したりしながら探求的な学習に取り組むことを通して、自分と地域社会のつながりに気付き、実生活・実社会の課題解決に向けて活動に取り組んだり、自己の生き方を見つめ直したりすることができる。</p>
	見方・考え方		総合（小3～）：俯瞰する・自己の生き方を問い続ける
	中1		※第Ⅳ期として、小5・小6区分と同じ
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】 願いの実現に向けて、問題場面を自分事としてとらえ、課題を設定し多様な視点や価値観から解決の方法や手順を考える姿 体験や調査から得た多様な情報を目的に応じて観点を設定し、整理したり分析したりして対象をとらえなおす姿 【他】 異なる意見を生かして新たな知を創造しようとする姿 互いの資質・能力を認め合い、相互に生かし合う関係を築こうとする姿 【自】 探求的な学習を通して、そのよさを捉えるとともに、自己の生き方を考えている姿 (人や社会、自然との関わりにおいて、自らの生活や行動について考えていく。) (自分にとっての学ぶことの意味や価値を考えていく。) (学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考えていく。)</p>	
	中2		<p>【俯瞰する】 ○収集した情報を目的に応じて比較・分類・関連付けながら整理することを通して、多面的・多角的な視点から情報の中にある特徴を捉え、課題解決に向けた自分なりの応えをもつことができる。</p>
	中3		<p>【自己の生き方を問い続ける】 ○様々な「人・もの・こと」との関わりの中で、自ら課題を見出したり捉え直したりしながら探求的な学習に取り組むことを通して、自分と地域社会のつながりを捉え、実生活・実社会の課題解決に向けて活動に取り組んだり、自らの生き方を見つめ直したりすることができる。</p>

やまぐち学園 音楽科一貫教育カリキュラム

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】生活の中で様々な音に気づき、おもしろさや心地よさを感じる姿 ・リズムに合わせて体を動かしたり、歌を歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ姿 【自】音や音楽に触れ、イメージを豊かにする姿 ・音や音楽に親しみ、感じたり考えたりしたことを声や動きなど様々な方法で表現しようとする姿 【他】保育者や友だちと歌ったり、踊ったり、音楽を聴いたりすることを一緒に楽しむ姿</p>		
	年少	<p>【社会生活とのかかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 ○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。</p>		
	年中	<p>○心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。(10の姿 豊かな感性と表現) ・劇や演奏会などに刺激を受け、合奏や踊り、人形劇などに自分達で取り組もうとする。</p>		
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】音や音楽と繰り返し関わる中で、曲や演奏の楽しさを見出している姿 【他】友達と一緒に歌ったり、演奏したりすることを楽しんでいる姿 【自】身の回りの音や音楽に興味をもっている姿 曲の特徴を捉え、どのように表現するか思いをもっている姿</p>		
	年長(後)	<p>○心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。(10の姿 豊かな感性と表現) ・劇や演奏会などに刺激を受け、合奏や踊り、人形劇などに自分達で取り組もうとする。</p>		
	見方・考え方	音楽に対する感性を働かせる	音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉える	自己のイメージや感情、生活や社会などと関連付ける
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむことができる。 ・思いをもって表現(歌う・演奏する・つくる)したり、自分なりの楽しさを見出しながら味わって聴いたりすることができる。</p>		
	小1・2	・曲想と音楽の構造との関わりについて気づくことができる。 ・「どのように表現したいか」「なぜ〇〇と感じ取ったか」について考える際、音楽を形づくった要素の働きと関連付けながら考えることができる。	・音楽に触れる楽しさを味わい、生活の中の音楽に対しても親しみをもつことができる。	
	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】音や音楽と繰り返し関わる中で、曲や演奏のよさを見出している姿 【他】仲間と一緒に歌ったり、演奏したりすることを楽しんだり、音楽のよさについて共有したりする姿 【自】曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている姿</p>		
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむことができる。 ・思いや意図をもって表現(歌う・演奏する・つくる)したり、自分なりのよさを見出しながら味わって聴いたりすることができる。</p>		
	小3・4	・曲想と音楽の構造との関わりについて気づくことができる。 ・「どのように表現したいか」「なぜ〇〇と感じ取ったか」について考える際、音楽を形づくった要素の働きに目を向けながら思考することができる。	・音楽に親しみ、生活の中に音楽を生かそうとすることができる。	
	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】音や音楽、音楽文化を含めた対象から、それらに興味を持ち、美しさや豊かさを感じ取りようとする姿 【他】言葉で説明する活動を取り入れ、曲や演奏に対する評価やその根拠を仲間と共に明らかにできる姿 【自】曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている姿 ・日常生活の中の音や音楽と音楽科を関連づけようとする姿</p>		
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむことができる。 ・思いや意図をもって表現(歌う・演奏する・つくる)したり、自分なりのよさを見出しながら味わって聴いたりすることができる。</p>		
	小5・6	・曲想と音楽の構造との関わりについて気づくことができる。 ・音楽を形づくった要素の働きをもとに、「どのように表現したいか」「なぜ〇〇と感じ取ったか」について考えることができる。	・生活の中の音楽と音楽活動を関連付け、様々な音楽に親しむことができる。	
	見方・考え方	音楽に対する感性を働かせる(この曲はいいなあと感じる)	音や音楽を、音楽要素とその働きの視点で捉える(良さの理由を見つける)	自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付ける(生活に取り入れる)口
第Ⅵ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>・主体的・協働的に表現や鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験できる。 ・音楽表現を工夫し、自分なりに音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。</p>		
	中1	・曲想と音楽の構造との関わり、及び音楽の多様性について理解できる。	・音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かにできる。	
	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連に興味をもち、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じて受け止めようとする姿 【他】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声・音などを聴きながら他者と合わせて演奏する姿 【自】自分が感じた音楽の良さと、その音楽を形づくっている要素との関わりについて考え、自らの生活に生かそうとする姿</p>		
第Ⅶ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>・主体的・協働的に表現や鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験できる。 ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</p>		
	中2・3	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解できる。	・音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かにできる。	

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】生活の中で様々な形、色、手触りなどに気付いたり、感じたりすることを楽しむ姿 いろいろな用具や素材に親しみ、描いたり、つくったりして、工夫して遊ぶ姿 生活の中でいろいろなことに出会ったり、体験したりして、イメージを豊かにする姿 【他】友達に表現に触れ、真似たり、教わったりして、感じ方や見方が広がる姿 【自】自分の考えや思いを自分なりの方法で表すことを楽しむ姿				
	年少	【社会生活とのかかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ○七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。				
	年中	○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など？				
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】材料や自然環境などに働きかけていく中で、形や色などを捉え、自分なりにイメージを広げていく姿 【他】作品などから表したい思いを読み取ったり、作品などをとおして思いを伝え合ったりする中で、表現のよさや楽しさを感じ取っていく姿 【自】実現したい思いを体全体の感覚を使って表す中で、自分の見方や感じ方に気付いたり、自分らしい表現を楽しんだりする姿				
	年長（後）	○心を動かす出来事などに触れ感性を動かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付く、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲もつようになる。（10の姿・豊かな感性と表現） ・様々なものの特徴を活かし、選んで使ったり、試したり工夫したりする。 ・様々な表現の美しさに触れ、イメージを豊かにするとともに、表現する楽しさを味わう。				
第Ⅲ期	見方・考え方	感性	形や色など	発想	構想	材料・用具の技能
	小1・2	身の回りのものの形や色などと体全体で関わりながら感性を働かせ、楽しさや面白さを感じている。	身の回りのものの形や色などに着目し、材料や用具を使って表現したり鑑賞したりすることができる。	感じたこと、想像したこと、見たこと、見たいことを見つけていることができる。	好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えていることができる。	・油粘土、土粘土、紙粘土、液体粘土など多様な粘土に親しむことができる。 ・クービー、パスなどで表すことができる。 ・共用絵の具で背景などを塗ることができる。 ・のりやボンド、テープやガムテープでの接着に慣れることができる。 ・はさみやカッターを安全に使うことができる。 ・多様な自然物や人工物に親しむことができる。
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】材料や場所などに働きかけていく中で、形や色などの感じを捉え、自分なりにイメージを広げていく姿 【他】作品などから表したい思いを読み取ったり、作品などをとおして思いを伝え合ったりする中で、表現のよさや面白さを感じ取っていく姿 【自】実現したい思いを試し錯誤しながら表す中で、自分の見方や感じ方の広がりや自覚したり、自分らしい表現を楽しんだりする姿				
	小3・4	身近な作品や友達の作品、材料の形や色などと関わりながら感性を働かせ、よさや面白さを感じている。	身近な作品や材料の形や色などの感じに着目し、材料や用具を使って表現したり鑑賞したりすることができる。	感じたこと、想像したこと、見たこと、見たいことを見つけていることができる。	表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えることができる。	・油粘土、土粘土、紙粘土、液体粘土などを使い、表したいものを工夫して表すことができる。 ・水彩絵の具のよさを生かしながら表すことができる。 ・のりやボンド、テープやガムテープを適切に使用して接着したり、グルーガンや釘での接着に慣れたりすることができる。 ・はさみやカッターを自分の思いに合わせた使い方をするとともに、彫刻刀を安全に使うことができる。 ・金づちやのこぎり、糸のこを安全に使うことができる。 ・多様な自然物や人工物を使い、表したいものを工夫して表すことができる。
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】材料や空間などに働きかけていく中で、形や色などの造形的な特徴を捉え、自分のイメージを豊かに広げていく姿 【他】作品などから表したい思いを読み取ったり、作品などをとおして思いを伝え合ったりする中で、表現のよさや面白さを感じ取っていく姿 【自】実現したい思いを見通しをもって表す中で、自分の見方や感じ方の深まりを自覚したり、自分らしさを見出したりしていく姿				
	小5・6	身近な美術作品や友達の作品、材料の形や色などと関わりながら感性を働かせ、よさや面白さを感じている。	身近な美術作品や材料の形や色などの造形的な特徴に着目し、材料や用具を組み合わせて表現したり鑑賞したりすることができる。	感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたこと、見たいことを見つけていることができる。	形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えることができる。	・土粘土を焼成したり、紙粘土や液体粘土などを使い表したいものを工夫して表したりすることができる。 ・水彩絵の具のよさを生かしながら表すことができる。 ・ボンドやテープ、グルーガン、釘などを適切に使用して接着することができる。 ・はさみやカッター、彫刻刀を自分の思いに合わせた使い方をすることができる。 ・金づちやのこぎり、糸のこを自分の思いに合わせた使い方をすることができる。 ・多様な自然物や人工物を組み合わせて使い、表したいものを工夫して表すことができる。
	見方・考え方	感性	形や色など	発想	構想	
中1	身近な美術作品や材料の形や色などと関わりながら感性を働かせ、よさや面白さや心情などを感じている。	身近な美術作品や材料の形や色などの造形的な特徴に着目し、意図に応じて表現を工夫したり、作品などの鑑賞の視点を広げたりすることができる。	感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたことなどから、主題を生み出すことができる。	形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途、美術の働きなどを考えながら、表現の方法について構想を練ることができる。		
第Ⅵ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】材料の特徴を捉え、素材そのものと対話しながら、素材との豊かな関わりをもちながらイメージを広げていく姿 【対】表現のテーマを考え、テーマに向き合いながら制作する姿 【他】地域や世界の表現にも目を向け、その中で様々な人々の思いに向き合ったり、鑑賞の活動を通して、表現の意義などに向き合ったり、社会の中での美術の役割を学ぶ姿 【自】制作を通して「自分とは何か」を問いかけながら、成長していく自分を見つめ、完成した作品から、新たに自分の個性を発見する姿				
	中2・3	身近な美術作品や材料の形や色などと関わりながら感性を働かせ、よさや面白さや心情や価値などを感じている。	身近な美術作品や材料の形や色などの造形的な特徴に着目し、意図に応じて表現を追求したり、作品などの鑑賞を深めたりすることができる。	感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたことなどから、独自の・総合的に考え、主題を生み出すことができる。	形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途、美術の働きなどを独自の・総合的に考えながら、表現の方法について構想を練ることができる。	

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】基本的な生活行動の仕方を知りながら、食べることを楽しみ、食べ物や季節への興味や関心をもつ姿 【他】保育者や友だちと一緒に食べることを楽しんだり、一緒に食べることを期待したりする姿 【自】食べることの楽しさや喜びに気づき、食べたいと思ったり、自分で食べたりする姿			
	年少	【社会生活とのかかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 ○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など？			
	年中				
	年長（前）				
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】基本的な生活行動の仕方を知りながら、食べることを楽しみ、食べ物や季節への興味や関心をもつ姿 【他】保育者や友だちと一緒に食べることを楽しんだり、一緒に食べることを期待したりする姿 【自】食べることの楽しさや喜びに気づき、食べたいと思ったり、自分で食べたりする姿			
	年長（後）	○幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。(10の姿 健康な心と体) ・幼稚園の生活の流れに見通しをもちながら遊びを進める。 ・手洗いやがいの必要性に気づいたり、食べ物に関心をもって友達と楽しく食事をしたりする。			
第Ⅲ期	見方・考え方	協力・協働	健康・快適・安全	生活文化の継承と創造	持続可能な社会の構築
	小1				
	小2				
	小3				
	小4				
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】自分の家庭生活を振り返りながら、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて繰り返し題材に関わり、問題を見出したり、設定した課題を解決したりする姿 【他】生活をよりよくしようとするために、家族や仲間、地域に助言したり家族や仲間、地域の考えを取り入れたりするなど、進んで学びとろうとする姿 【自】現在の自分から課題を設定し、学習の見通しを持つとともに、学習を振り返る中で得た学び方や身についた力を自覚し、次に生かそうとする姿			
	小5	家族や地域の人々と協力し、生活をよりよくしようと工夫することができる。	現在の家庭や地域について、健康・快適・安全の視点をもって、生活をよりよくしようと工夫することができる。	生活文化の大切さに気づき、生活をよりよくしようと工夫することができる。	人や社会、地域、環境などにやさしくするために生活を工夫することができる。
	小6	家族や地域の人々と協働し、生活をよりよくしようと工夫することができる。	現在や将来の家庭や地域について、健康・快適・安全の視点をもって、生活をよりよくしようと工夫することができる。	生活文化の大切さに気づき、生活をよりよくしようと工夫することができる。	人や社会、地域、環境などにやさしくするために生活を工夫することができる。
	見方・考え方	協力・協働	健康・快適・安全	生活文化の継承と創造	持続可能な社会の構築
中1	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	過去・現在・未来といった長い時間や家庭・地域・国といった広い空間を意識して、健康・快適・安全の視点をもって、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	生活文化の継承の大切さに気づき、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	持続可能な社会の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】家庭及び地域の生活の中の課題を自分のこととして捉え、自分の役割を考えながら、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて問題を見出したり、設定した課題を解決したりする姿 【他】よりよい生活の実現に向けて、学校内だけでなく、家族や地域に住む人々との関わり合いから、衣食住などの家庭の営みについて深く学びとろうとする姿 【自】過去・現在・未来軸を加味して、自分の課題を設定し、学習の見通しを持つとともに、学習を振り返る中で、得た学び方や身についた力を自覚し、追求しようとする姿			
	中2	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	過去・現在・未来といった長い時間や家庭・地域・国といった広い空間を意識して、健康・快適・安全の視点をもって、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	生活文化の継承の大切さに気づき、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	持続可能な社会の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。
	中3	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	過去・現在・未来といった長い時間や家庭・地域・国といった広い空間を意識して、健康・快適・安全の視点をもって、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	生活文化の継承の大切さに気づき、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができる。	持続可能な社会の実現に向けて提案最適解を求める生活を工夫し創造することができる。

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】様々な遊具や用具、運動的な遊びに興味をもってかかわる姿 【対】思い切り体を動かしたり様々な動きを楽しんだり繰り返し試したり工夫したりする姿 【対】遊具や用具の安全な使い方や遊び方を知り、安全な方法で遊ぶ姿 【他】友達や保育者のしていることに興味関心をもち、一緒に楽しむ姿 【他】友達と遊ぶ姿を手本にしたり教え合ったり励まし合ったりする姿 【他】友達と遊び方やルールを考えたり相談したりしながら一緒に進める姿 【自】自分から進んで遊びに取り組み、体を動かす心地よさを味わう姿 【自】繰り返し挑戦したり最後までやり遂げたりする体験を通して、自信や充実感をもつ姿		
	年少	【社会生活とのかかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。		
	年中	○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など？		
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知り、基本的な動きを幅広く身に付ける姿 【他】各種の運動遊びで工夫したことを他者に伝える姿 【他】きまりを守り誰とも仲よく運動遊びを楽しむ姿 【自】各種の運動遊びの楽しさに触れ、活発に運動遊びに取り組む姿		
	年長（後）	○幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心を体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。（10の姿 健康な心と体） ・自分なりの目標を持って体を動かす活動に取り組む。簡単なルールのある遊びを友達と進めながら楽しむ。		
	見方・考え方	運動やスポーツの特性に着目すること	体力の向上につなげること	「する・見る・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること
小1・2	運動遊びの特性に着目しながら楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けることができる。	運動遊びの楽しさに触れ、活発に運動遊びを行っていく中で、基本的な動きを幅広く身に付け、結果として体力の向上を図ることができる。	運動遊びの行い方を知ることで、各種の基本的な動きの習得や課題の解決、友達との関わり合いができる。	
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】運動やスポーツの価値や特性に触れる中で、各種の運動の行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける姿 【他】自己やグループの運動の課題を見つけ、解決に向けた方法や活動を工夫していく中で、仲間の考えを聞いて自己の考えを深めたりする姿 【自】各種の運動の楽しさや喜びを味わい、自己の課題に最後まで諦めずに取り組む姿		
	小3・4	運動の特性に着目しながら楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けることができる。	運動の楽しさや喜びに触れ、活発に運動を行っていく中で、各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付け、結果として体力の向上を図ることができる。	運動の行い方を知ることで、各種の基本的な動きの習得や課題の解決、友達との関わり合いができる。
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】運動やスポーツの価値や特性を見出す中で、自己の力に応じた各種の運動の行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける姿 【他】自己やグループの運動の課題を見つけ、解決に向けた方法や活動を工夫していく中で、仲間の考えを理解したり自己の考えを深めたりする姿 【他】一人一人の違いを認めようとする姿 【自】運動の合理的な実践をとおして楽しさや喜びを味わい、最善を尽くして運動に取り組む中で、新たな課題に挑戦する姿		
	小5・6	運動の特性に着目しながら楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けることができる。	体力の重要性を理解するとともに、各種の運動の楽しさや喜びを味わい、活発に運動を行っていく中で、各種の運動の基本となる様々な技能を身に付け、結果として体力の向上を図ることができる。	運動の行い方を知ることで、各種の基本的な動きの習得や課題の解決、友達との関わり合いができる。
	見方・考え方	運動やスポーツの特性に着目すること	体力の向上につなげること	「する・見る・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること
中1	心と体が関連していることを実感したり、それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて運動することそのものを楽しんだり、その運動の特性に触れたりすることができる。	運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止等を理解することができる。体力と運動の技能は相互に関連して高まることを理解することができる。	スポーツに関する科学的な知識や文化的意義等の基本的事項について理解を図ることができる。	
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	【対】運動やスポーツのもつ特性にせまりながら、必要な知識や技能を身に付ける姿 【他】自己や仲間の課題を発見し、合理的解決に向けた方法や活動を工夫していく中で、仲間の考えを認めたり自己を寛容させたりする姿 【他】一人一人の違いを認め、大切にしようとする姿 【自】運動の合理的な実践をとおして楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践するために、新たな課題を見つけ追いつける姿		
	中2・3	全ての領域の学習の経験を踏まえ、更に追求したい領域、新たに挑戦したい領域、課題を克服したい領域など、選択した領域に応じて運動の楽しさや喜びを味わうことができる。	運動に関連して高まる体力やその高め方を理解するとともに、目的に適した運動の計画を立て、取り組むことができる。	自己に適した運動の経験をおいて、「生涯にわたって運動を豊かに実践する」ための基礎となる知識や技能を身に付け、選択した運動種目等での運動実践を高めることができる。

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】絵本や紙芝居などに触れ、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉や文字に親しむ姿 ・文字には人に思いを伝える役割があることに気付き、使ってみようとする姿 【自】いろいろな体験を通して、言葉やイメージを豊かにする姿 ・自分の気持ちや経験したこと、考えたことなどを文字や言葉で表現しようとする姿 【他】保育者や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする姿</p>			
	年少	<p>【社会生活とのかかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。 ○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など？</p>			
	年中				
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】言葉がもつよさにつながる問いをもち、生活・学習経験と結び付けて、考えようとしている姿 【自】問いについて考えたり、対話したりする中で、言葉がもつよさを感じている姿 【他】仲間と共に、言葉がもつよさにつながる問いについて話し合っている姿 対話を楽しむ中で、自分の考えをもととしている姿</p>			
	年長（後）	<p>○先生や友達と心を通い合わせる中で、絵本や物語などに親しみをもちながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉や身振りなどで伝えたり、相手の話を注意して聞いたり、言葉による伝え合いを楽しむようになる。（10の姿・言葉による伝え合い） ・年下の友達には分かりやすく優しく伝えるなど、相手や状況に応じて相手に分かるように伝え方を工夫する。</p>			
	見方・考え方	社会や世界との関わり	他者との関わり	目的や場面、状況	適切な言語材料の活用
	小1				
小2					
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】目的や場面、状況等に応じた適切な言語材料を学び、言語活動に取り組む姿 【他】目的や場面、状況等に応じて、相手に配慮しながら伝えたいことを表現する姿 自分の思いや考えを伝えるために、仲間の表現や意見を認めたり共感したりしながらよりよいコミュニケーションをしようとする姿 【自】これまででできるようになったことを振り返り、よりよいコミュニケーションのために自分の思いや考えを再構築したり創造したりしている姿</p>			
	小3	社会や世界との関わりの中で事象を捉えることができる。	言語やその背景にある文化、相手の性格や思考などを理解して相手に配慮することができる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができる。	意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して繰り返し触れることができる。言語材料と言語活動と関連付けて、言語材料に慣れ親しんでいる。
	小4	社会や世界との関わりの中で事象を捉えることができる。	言語やその背景にある文化、相手の性格や思考などを理解して相手に配慮することができる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができる。	意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して繰り返し触れることができる。言語材料と言語活動と関連付けて、言語材料に慣れ親しんでいる。
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】目的や場面、状況等に応じた適切な言語材料を学び、選択して、言語活動に取り組む姿 【他】目的や場面、状況等に応じて、相手や第三者などの他者に配慮しながら伝えたいことを表現する姿 自分の思いや考えを伝えるために、仲間の表現や意見を認めたり共感したりしながらよりよいコミュニケーションをしようとする姿 【自】これまででできるようになったことを振り返り、よりよいコミュニケーションのために自分の思いや考えを再構築したり創造したりしている姿</p>			
	小5	社会や世界との関わりの中で事象を捉えることができる。	外国語やその背景にある文化、他者の性格や思考を理解しようとするなどして相手に配慮することができる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができる。	意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して繰り返し触れることができる。言語材料と言語活動と関連付けて、コミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
	小6	社会や世界との関わりの中で事象を捉えることができる。	外国語やその背景にある文化、他者の性格や思考を理解しようとするなどして相手に配慮することができる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができる。	意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して繰り返し触れることができる。言語材料と言語活動と関連付けて、コミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
	見方・考え方	社会や世界との関わり	他者との関わり	目的や場面、状況	適切な言語材料の活用
中1	社会や世界との関わりの中で事象を捉えることができる。	外国語やその背景にある文化、他者の性格や思考を理解しようとするなどして相手に配慮することができる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができる。	意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して繰り返し触れることができる。言語材料と言語活動と関連付けて、コミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】目的や場面、状況等に応じた適切な言語材料を学び、適切に選択して、言語活動に取り組む姿 【他】目的や場面、状況等に応じて、相手や第三者などの他者に配慮しながら伝えたいことを表現する姿 自分の思いや考えを伝えるために、仲間の表現や意見を認めたり共感したりしながらよりよいコミュニケーションをしようとする姿 【自】これまででできるようになったことを振り返り、よりよいコミュニケーションのために自分の思いや考えを再構築したり創造したりしている姿</p>			
	中2	社会や世界との関わりの中で事象を捉えることができる。自分の生活や人生と、社会や世界の在り方とを主体的に結びつけることができる。	外国語やその背景にある文化を理解するなどして相手に配慮し、コミュニケーションを図ることができる。相手の理解を確かめながら話したり、相手が言ったことを共感的に受け止める言葉を返ししながら聞いたりすることができる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することができる。また、考えを整理したり話す内容の構成を考えたり、相手に応じた表現を選択したりすることができる。既習のものを含めて習得した知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、課題を見いだして解決策を考えたりすることができる。	意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して繰り返し触れることができる。語彙、文法などの言語材料と言語活動とを効果的に関連付けて、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。
	中3				

第Ⅰ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】遊びや生活の中の様々な出来事に出会い、興味関心をもち、感じたり考えたりする姿 ・生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする姿 ・ルールやマナーを知る姿</p> <p>【他】身近な人に親しみをもってかかわる姿 ・友達とのやりとりの中で、相手の思いに気づいたり考えたりする姿 ・遊びや生活の中でルールやマナーの大切さに気づく姿</p> <p>【自】自分ごととして捉えようとし、より良い方向に向かおうとする姿 ・遊びや生活の中でルールやマナーの大切さに気づき、守ろうとする姿</p>			
	年少	<p>【社会生活とのかかわり】 ○幼稚園における生活の仕方を知り、自分達で生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気付く、守ろうとする。 ○日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 ・七夕、十五夜、正月、節分やお祭り、もちつきなどの日本の伝統行事や文化を体験する。</p>			
	年中	<p>○幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。 ○高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ・地域の高齢者や大学、農場など？ ○生活に関連の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 ・大学など？</p>			
第Ⅱ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】教材の人物等の行為と自分や仲間、社会、命とのかかわりとを比べて、道徳的問題について考えていく姿 【他】道徳的問題を捉えたり、解決に向けて考えたりする中で、仲間の考えを生かしたり、求めたりすることで、道徳的諸価値の理解をもとに、自己の生き方について考えていく姿 【自】教材の人物等の行為や思いと照らし合わせながら、これまでの自分の言動について振り返り、現在の自分やこれからの自分について考えていく姿</p>			
	年長（後）	<p>○道徳性・基盤意識の芽生え(10の姿) ・いざこざなどうまくいかないことを乗り越える体験を重ねることを通して人間関係が深まり、友達や周囲の人の気持ちに触れて、相手の気持ちに共感したり、相手の視点から自分の行動を振り返ったりして、考えながら行動する姿が見られるようになる。 ・友達と様々な体験を重ねることを通して人間関係が深まる中で、きまりを守る必要性が分かり、友達と一緒に心地よく生活したり、より遊びを楽しんだりするために、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくらせたり、守ったりするようになる。</p>			
	見方・考え方	道徳的価値を考える	自己との関わりで考える	多面的・多角的に考える	自己の生き方について考える
	小1・2	道徳的価値の大切さを知ることができる。	教材の人物の行為と自分とを比べることができる。	いろいろな人物等の立場に立つことで、道徳的諸価値のよさについて捉えることができる。	現在の自分の行動様式とその大切さについて考えることができる。
第Ⅲ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】教材の人物の心情や行為の意味について、自己の経験などを通して理解を深めながら、道徳的問題について考えていく姿 【他】道徳的問題を捉えたり、解決に向けて考えたりする中で、仲間の考えを生かしたり、求めたりすることで、道徳的価値の理解をもとに、自己の生き方について考えていく姿 【自】教材の人物等の行為や思いと照らし合わせながら、これまでの自分の言動について振り返り、現在の自分やこれからの自分について考えていく姿</p>			
	小3・4	価値理解、人間理解、他者理解を通して、道徳的価値のよさに気付くことができる。	教材の人物の行為や思いと自分を照らし合わせながら、更に考えを深めることができる。	それぞれの道徳的価値をよさだけでなく、実現を図る難しさや、感じ方、考え方の多様性について考えることができる。	自分自身の生き方について経験をふまえながら考えることができる。
	見方・考え方	道徳的価値を考える	自己との関わりで考える	多面的・多角的に考える	自己の生き方について考える
第Ⅳ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】教材の人物等の行為や事象と、自分や仲間、社会、自然、命、偉人などのかかわりとを比べて、道徳的問題について自分なりの納得解を出しながら考えていく姿 【他】道徳的諸価値の理解をもとに、物事を多面的・多角的に考えることで、自己の生き方についての考えを深めていく姿 【自】過去の自分の行為や思いを振り返り、現在の自分を見つめなおし、これからの自分の生き方についての考えを深めていく姿</p>			
	小5・6	価値理解、人間理解、他者理解を通して、道徳的価値の意味を理解することができる。	教材の人物の行為や生き方と、自分を比べて自分なりの考えを深めることができる。	一定の道徳的価値から考えるのではなく、様々な道徳的価値と関連付けて考えることができる。	生き方の課題を考え、自己の生き方について思いや願いを深めることができる。
	見方・考え方	道徳的価値を考える	自己との関わりで考える	広い視野から多面的・多角的に考える	人間としての生き方について考える
	中1	価値理解、人間理解、他者理解、自然理解を通して、道徳的価値の意義を理解することができる。	様々な価値について自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省することができる。	多くの側面や立ち位置から物事を捉え、他者に伝えたり、何がよりよい考え方なのかを見出したりすることができる。	他者や社会、周囲の世界の中で、その影響を受けつつ、自分を深く見つめ、在るべき自分についての考えを深めることができる。
第Ⅴ期	対象・他者・自己と向き合う姿	<p>【対】教材の人物等の行為と自分や仲間、集団、命との関わりとを比べて道徳的問題について考えていく姿 【他】道徳的諸価値の理解をもとに、物事を多面的・多角的に考えることで、よりよい未来を創り出すために、人間としての生き方についての考えを深めていく姿 【自】葛藤し自己理解を深めることで、人間とは何かを考え、人間としての生き方を考えていく姿</p>			
	中2・3	価値理解、人間理解、他者理解、自然理解を通して、道徳的価値の意義を理解することができる。	様々な価値について自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省することができる。	多くの側面や立ち位置から物事を捉え、他者に伝えたり、何がよりよい考え方なのかを見出したりすることができる。	他者や社会、周囲の世界の中で、その影響を受けつつ、自分を深く見つめ、在るべき自分についての考えを深めることができる。